

分析結果報告書

第 分 10190 号  
令和 2 年 3 月 17 日

富士製紙協同組合

様



静岡県公認登録第 184-6 号

事業者名 立華株式会社

静岡県富士市本市場 422-1 Tel 0545(61)8402

環境計量士 (登録第環 3818 号) 加藤 雅士

依頼者名	富士製紙協同組合
事業所名	富士製紙協同組合
施設名	PS 焼却炉 2 号機 BF 出口
測定年月日	令和 2 年 2 月 5 日
特記事項	分析期間: 令和 2 年 2 月 10 日 ~ 3 月 3 日

御依頼を受けました排ガス中の物質について分析した結果を下記の通り報告します。

分析項目	単位	分析結果	分析方法
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	毒性等量 0.093 (酸素12%換算濃度)	JIS K 0311 (排ガス中のダイオキシン類の 測定方法)
		以下余白	

備考 1. 補正濃度は標準酸素濃度補正方法による補正濃度を表す。  
 2. 分析の結果欄に未満と表示されている数値は定量下限値を表す。

分析結果報告書

第 分 10209号  
令和 2年 6月 17日

富士製紙協同組合

様



静岡県公認登録第 1346号

事業者名 立華株式会社

静岡県富士市本市場 422-71 Tel 0545(61)8402

環境計量士(登録第4520号) 入野一人

依頼者名	富士製紙協同組合
事業所名	富士製紙協同組合
施設名	PS焼却炉2号機 BF出口
測定年月日	令和 2年 5月 13日
特記事項	分析期間：令和 2年 5月13日～ 6月 8日

御依頼を受けました排ガス中の物質について分析した結果を下記の通り報告します。

分析項目	単位	分析結果	分析方法
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	毒性等量 (酸素12%換算濃度) 0.011	JIS K 0311 (排ガス中のダイオキシン類の測定方法)
		以下余白	

- 備考 1. 補正濃度は標準酸素濃度補正方法による補正濃度を表す。  
2. 分析の結果欄に未満と表示されている数値は定量下限値を表す。

分析結果報告書

第 分 10244号  
令和 2年 9月14日

富士製紙協同組合

様



静岡県公認登録第 18436号

事業者名 立華株式会社

静岡県富士市本市場 422-1 Tel 0545(61)8402

環境計量士(登録第 4520号) 入野 一人



依頼者名	富士製紙協同組合
事業所名	富士製紙協同組合
施設名	PS焼却炉2号機 BF出口
測定年月日	令和 2年 8月 19日
特記事項	分析期間: 令和 2年 8月19日～ 9月 8日

御依頼を受けました排ガス中の物質について分析した結果を下記の通り報告します。

分析項目	単位	分析結果	分析方法
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	毒性等量 (酸素12%換算濃度) 0.062	JIS K 0311 (排ガス中のダイオキシン類の測定方法)
		以下余白	

備考 1. 補正濃度は標準酸素濃度補正方法による補正濃度を表す。  
2. 分析の結果欄に未満と表示されている数値は定量下限値を表す。

# 分析結果報告書

第 分 10299 号  
令和 2 年 12 月 9 日

富士製紙協同組合 様



静岡県公認登録第 13436 号

事業者名 立華株式会社

静岡県富士市本市場 422-1 Tel 0545(61)8402

環境計量士(登録第 4520 号) 入野 一人

依頼者名	富士製紙協同組合
事業所名	富士製紙協同組合
施設名	PS 焼却炉 2 号機 BF 出口
測定年月日	令和 2 年 11 月 10 日
特記事項	分析期間: 令和 2 年 11 月 10 日 ~ 11 月 30 日

御依頼を受けました排ガス中の物質について分析した結果を下記の通り報告します。

分析項目	単位	分析結果	分析方法
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	毒性等量 0.055 (酸素 12% 換算濃度)	JIS K 0311 (排ガス中のダイオキシン類の 測定方法)
		以下余白	

- 備考 1. 補正濃度は標準酸素濃度補正方法による補正濃度を表す。  
2. 分析の結果欄に未満と表示されている数値は定量下限値を表す。